東京と緑

発行所
東京都造園緑化業協会
東京都渋谷区神南1-20-11
電話（03）462―2850
編集人
広報委員会

社団法人化の夢実現

4月1日に設立許可

緑化思想の普及推進に

昭和五十二年三月十一日（金）午後一時三十分、東京都渋谷区宇田川町二番地一号、渋谷・東武ホテルホールで「社団法人東京都造園緑化業協会」の創立総会が開催された。

昭和五十年五月十六日午前十時千代田区麹町議連会館において東京都下の造園緑化業者関係者の強化と一体化を図り、社会に貢献するため、都下の造園緑化業者の代表的組織体としての「東京都造園緑化業協会」が発足して二年を出ずして、ここに参加会員一四六名による社団法人・東京都造園緑化業協会の発足するための創立総会が開催された。宮崎事務理事による社団法人・東京都造園緑化業協会の設立趣意書の説明に引続き、定款改正の件、寄付財産の審議が行われ、続いて昭和五十二年度事業計画及び収支予算に関する件が上程され審議の結果満場一致で可決され、選挙委員による十名の選考委員の推薦による十名の候補者の中から、会員一四六名の投票による選挙の結果、次の十名が当選した。

（敬称略）

（社団法人・東京都造園緑化業協会設立の披露パーティーで、会長就任のあいさつをする太田和男氏）

……

社団法人・東京都造園緑化業協会設立の披露パーティーで、会長就任の挨拶をされた太田和男氏

出発、進行

太田和男

協会設立の当初から掲げている次第である。

そこで一言いわせて頂くが、四月一日から得られたことはまことにご同慶にたえない。

東京の生活環境改善のために、都内の緑化増進に役立つような働きをするという会設立の目的、事業に変りはないのだが、業者を中核とする団体であることから、これまでは、とかく業者団体の私的な活動として評価をされる傾向があったけれども、これから緑化増進のために、常々と公益的な意地から積極的に幅広く活動していけるわけで、意を強くするとともに反面社会的な責務を痛感する次第である。

東京都は行財政三ヵ年計画の中に、生活環境の保全と併せて震災時等の避難所をかねた公園、緑地の整備拡張、道路緑化等の事業を盛りこんで実施にとりかかっている。

当協会は、事業項目の第一に緑化意識の高揚と公共の緑化事業に対する協力を掲げているが、公益法人としての充実を図ることに心して、巨視的に都市公園整備事業に協力し、次都市公園整備事業に協力し、緑化業協会（筆者・社団法人東京都造園緑化業協会長）

ここまで悪化した生活環境を改善して良好な条件に戻すということは、このことについての都民（企業体を含む）の深い理解と協力がなくては実現できないことであると思う。

すなわち大都会等の災害有事の際はもちろんのこと、住民の健康と生命を守るために必要な都市空間を確保して、これを道路、広場、公園、緑地等、住民の生活に密着した施設として整備することは、大都市経営の基本的課題であって為政者の責務であるが、ことに生活する住民一人、個人、企業体を問わず、この緑地の解決を、お互の生活と生命を守るための要件と考えて、これが実現のために、積極的に協力することが共同の責務であるということを強く反省の要がある。

すでに年度から国では第一次都市公園整備事業に着手し、いるし、東京都は行財政三ヵ年計画の中に、生活環境の保全と併せて震災時等の避難所をかねた公園、緑地の整備拡張、道路緑化等の事業を盛りこんで実施にとりかかっている。

当協会は、事業項目の第一に緑化意識の高揚と公共の緑化事業に対する協力を掲げているが、公益法人としての充実を図ることに心して、巨視的に都市公園整備事業に協力し、次都市公園整備事業に協力し、緑化業協会（筆者・社団法人東京都造園緑化業協会長）

促進のためには、積極的に有効な運動を展開していきたいものと考える。

（筆者・社団法人東京都造園緑化業協会長）

昭和52年度事業計画

昭和五十二年三月十一日（金）午後一時からの創立総会において決定を見た向う一年間の事業計画は次の通りである。

一　事業の概要

法人設立の目的と目的にのっとり、首都緑化の推進に関する事業及び都市防災に関連する事業並びに会員の技術の向上、事業の安定等に資する事業を重点として実施する。また法人組織の一層の充実を図ることとする。その事業計画は次のとおりである。

二　緑化普及事業

(イ)　緑化の事業

(ロ)　「都市緑化月間」の行事の一環として、社会福祉関連施設の緑化に協力する

(ハ)　苗木の無料配付を行う

(ニ)　樹木のあっせんを行う

(ホ)　談話会並びに講習会

(ヘ)　「都市緑化月間」中の行事として談話会を行う

(ト)　樹木の手入及び緑化についての都民向け講習を行う

(チ)　造園緑化の相談開始

(リ)　書面による都民からの相談に応ずる

(ヌ)　パンフレットの配付

(ル)　緑に関する都民向けパンフレットを作成、一般に配付する

(ヲ)　緑に関する図書の出版

例えば「住宅庭園の造り方」等

(ワ)　植栽の調査研究を行う

(カ)　防災緑地の調査研究

都市防災に関する緑地及び植栽の調査研究を行う

(ヨ)　公園、緑地、広場など都市防災に関する問題について、関連諸団体との連絡協議を図る

(タ)　座談会の開催

都民代表、学識経験者等を招き座談会を行う

(レ)　研修会を行う

(ソ)　荷造り梱包、根鉢し、植栽等の講習

(ツ)　「現場代理人ハンドブック」の要綱に関する研修

(ネ)　樹木の手入に関する講習

(ナ)　庭園施工に関する講習

(ラ)　造園新資材に関する講習

(ム)　殺虫剤の撒布に関する講習

(ウ)　造園緑化に関する情報、資料の収集及びその提供を行う

(ヰ)　技術の向上並びに経営関する調査研究を行う

(ノ)　造園緑化に関する情報、資料の収集及びその提供を行う

三　緑による都市防災協力事業

(イ)　関連団体等との連絡協議

公園、緑地、広場など都市防災に関する問題について、関連諸団体との連絡協議を図る

(ロ)　講習会の開催

四　調査研究及び情報の収集

(イ)　技術の向上並びに経営関する調査研究を行う

(ロ)　造園緑化に関する情報、資料の収集及びその提供を行う

(ハ)　庭園施工に関する講習

(ニ)　殺虫剤の撒布に関する講習

(ホ)　造園新資材に関する講習

(ヘ)　「現場代理人ハンドブック」の要綱に関する研修

(ト)　樹木の手入に関する講習

(チ)　荷造り梱包、根鉢し、植栽等の講習

(リ)　「現場代理人ハンドブック」の要綱に関する研修

(ヌ)　樹木の手入に関する講習

(ル)　庭園施工に関する講習

(ヲ)　造園新資材に関する講習

(ワ)　殺虫剤の撒布に関する講習

(カ)　造園緑化に関する情報、資料の収集及びその提供を行う

五　講習会、研修会等の実施

各種資格に関する講習会及び研修会を行う

六　機関紙の発行

内容の充実を図り年二回発行する。

【2面につづく】

役員と五委員会委員

理事十名と監事三名は次の通り。

理事＝太田和男（会長元東京都副知事）、北村橋正（副会長、東洋造園土木）（田丸実（副会長東光園緑化）、宮崎秀之（事務理事、元東京都公園緑地部長、員外）、岩田勝之助（岩田造園土木）、池田清（主子緑化）、加藤俊雄（加藤造園）、杉本熊次（杉本造園土木）、黒沼茂雄（茂雄造園）、長谷川武文（長谷川庭園）、小出治郎（小出造園）、佐伯操次（東京都造園緑化）、藤井三義（西部公園）、勝芳三郎（東村山造園（第一植木）、長瀬和夫（東京園芸）、三村欣司（三村造園）、蛭田日出雄（蛭田造園）、高原栄重（太洲緑化）、蛭田貞二（蛭田植物園）、北見力（樹木造園）、吉村鈴男（吉村造園）、前田栄一（昭和造園）、宮崎秀之（事務理事）。

監事＝宮島穀（委員長、東京園芸）、三村欣司（副委員長、三村造園）、皮袋誠（武蔵野造園土木）、池田清（主子緑化）、浅野三義（西武公園）、浅野三義（副委員長主子緑化）、浅野三義（副委員長西武不動産）、川田祥（動産）、蛭田日出雄（蛭田造園土木）、坂本起一夫（桜造園土木）、黒沼茂雄（茂雄）、木村清吉（豊水造園土木）、有賀光俊（西武不動産）、広瀬栄重（太洲緑化）、蛭田貞二（副委員長・太洲緑化）、蛭田貞二（副委員長）、樹木造園土木）、北見力（樹木造園）、清水亀一（ライト工業）、神代節郎（東光園緑化）、伊藤節郎（ニチノー緑園）、田中青雄（中植木）、榎本公雄（東京造園土木）、技術委員会＝杉本熊次（委員長）、杉本造園土木）、比留間邦助（副委員長）、表雅樹（園）、吉村金男（桜造園）、藤井文治（桜造園）、高野伝（高野造園）、西村昇（西村造園土木）、中瀬操（中瀬庭園）、宇田川宏（宇田川造園）、田中青雄（中植木）

運営委員会＝北村信正（委員長）、蛭田貞二（副委員長）、吉村鈴男（吉村造園）、前田栄一（昭和造園）、宮崎秀之（事務理事）。

総務委員会＝宮島穀（委員長、東京園芸）、三村欣司（副委員長、三村造園）、皮袋誠（武蔵野造園土木）、蛭田日出雄（蛭田造園土木）、坂本起一夫（桜造園土木）、黒沼茂雄（茂雄）、木村清吉（豊水造園土木）、有賀光俊（西武不動産）、勝芳三郎（東村山造園（第一植木）、長瀬和夫（東京園芸）、三村欣司（三村造園）、蛭田日出雄（蛭田造園土木）、池田清（主子緑化）、浅野三義（西武不動産）、川田祥（動産）

広報委員会＝広瀬栄重（委員長・太洲緑化）、蛭田貞二（副委員長）、樹木造園土木）、北見力（樹木造園）、清水亀一（ライト工業）、神代節郎（東光園緑化）、伊藤節郎（ニチノー緑園）、田中青雄（中植木）、榎本公雄（東京造園土木）

技術委員会＝杉本熊次（委員長）、杉本造園土木）、比留間邦助（副委員長）、表雅樹（園）、吉村金男（桜造園）、藤井文治（桜造園）、高野伝（高野造園）、西村昇（西村造園土木）、中瀬操（中瀬庭園）、宇田川宏（宇田川造園）、田中青雄（中植木）

理事会などの動き

（52年4月1日から52年7月31日まで）

【第一回役員会】（52年4月19日）

社団法人となっての第一回の理事会である。

第一号議案　定期総会（決議）の日時を五月三十一日午前十一時とすることを定め、会場には浜松町宮田ビルを選定することとした。

第二号議案　理事会の運営方針について検討した。

【第二回役員会】（52年5月11日）

第一号議案　総会提案の件について検討した。

第二号議案　相談役の推せんについては、伊藤節郎（ニチノー）、小出治郎（小出造園）、佐伯操次（東京都造園緑化）、長谷川武文（長谷川庭園）、黒沼茂雄（茂雄）、山本千代松（山本造園）の五名を決定した。

【第三回役員会】（52年6月9日）

第一号議案　新規加入会員の件を審議したが、総務委員会において加入推薦を推進することとし、一時保留を決定した。

【技術委員会】（52年6月17日）

昭和五十二年度事業の再検討を行ない、次の通り委員会案を決定した。(1)荷造り梱包、根回し、植栽の講習、(2)月未実施、(3)現場代理人ハンドブックに関する研修（6月中旬実施）、(3)樹木の手入講習（8月中旬実施）、(4)安全推進員及び衛生管理員資格取得研修（53年1月実施）、(5)造園資材に関する講習（1月実施）、(6)殺虫剤の撒布に関する講習（2月実施）、(7)新資材に関する講習（2月実施）、(8)造園施工に関する講習（3月実施）、(9)造園緑化に関する情報、資料の収集及びその提供を行う。

【広報委員会】（52年7月13日）

昭和五十二年度の委員会運営の方針を決定した。

【技術委員会】（52年7月8日）

各委員長よりの報告が行われた後、後任委員として新規加入会員の件を審議し、内閣を作ることに意見がないので、通用する方式で処理することとし、会員一名の推せんがあること、決議書に添付することとした。その他の事項として、十月の「都市緑化月間」の行事について検討した。

【技術委員会】（52年7月21日）

午前九時半より午後五時まで三鷹市下連雀六丁目東京都調査研究所において根回し荷造り、植栽の講習を行った。参加人員十九名。

【第四回役員会】（53年7月8日）

各委員長よりの報告が行われた後、後任委員として新規加入会員の件を審議し、内閣を作ることに意見がないので、通用する方式で処理することとし、会員一名の推せんがあること、決議書に添付することとした。その他の事項として、十月の「都市緑化月間」の行事について検討した。

【技術委員会】（52年7月29日）

今後の運営方針について検討した。

【技術委員会】（52年8月27日）

今後の運営方針について検討した。

【技術委員会】（52年9月27日）

中間報告に関する資格取得の講習（1月実施）

【総務委員会】（52年6月22日）

今後の運営方針について検討した。

【技術委員会】（52年7月7日）

午前九時半より午後五時まで三鷹市下連雀六丁目東京都調査研究所において根回し荷造り、植栽の講習を行った。参加人員十五名。

【技術委員会】（52年7月29日）

午前九時半より午後五時まで世田谷区三軒茶屋において造園資材の講習を実施した。参加人員四十七名である。

【総務委員会】（52年7月29日）

委員会の運営について検討した。

【技術委員会】（52年8月5日）

中間報告に関する資格取得の講習を行った。

【事業委員会】（52年7月7日）

昭和五十二年事業について検討した。

【事業委員会】（52年7月15日）

昭和五十二年事業について検討した。

【技術委員会】（52年8月5日）

午前九時半より午後五時まで三鷹市下連雀六丁目東京都調査研究所において根回し荷造り、植栽の講習を行った。参加人員十五名。

【事業委員会】（52年7月29日）

【事業委員会】（52年8月5日）

【事業委員会】（52年8月29日）

【事業委員会】（52年9月5日）

【事業委員会】（52年9月29日）

【事業委員会】（52年10月5日）

【事業委員会】（52年10月29日）

【事業委員会】（52年11月5日）

【事業委員会】（52年11月29日）

【事業委員会】（52年12月5日）

【事業委員会】（52年12月29日）

【事業委員会】（53年1月5日）

【事業委員会】（53年1月29日）

【事業委員会】（53年2月5日）

【事業委員会】（53年2月29日）

【事業委員会】（53年3月5日）

【事業委員会】（53年3月29日）

【事業委員会】（53年4月5日）

【事業委員会】（53年4月29日）

【事業委員会】（53年5月5日）

【事業委員会】（53年5月29日）

【事業委員会】（53年6月5日）

【事業委員会】（53年6月29日）

【事業委員会】（53年7月5日）

【事業委員会】（53年7月29日）

【事業委員会】（53年8月5日）

【事業委員会】（53年8月29日）

【事業委員会】（53年9月5日）

【事業委員会】（53年9月29日）

【事業委員会】（53年10月5日）

【事業委員会】（53年10月29日）

【事業委員会】（53年11月5日）

【事業委員会】（53年11月29日）

【事業委員会】（53年12月5日）

【事業委員会】（53年12月29日）

【事業委員会】（54年1月5日）

【事業委員会】（54年1月29日）

【事業委員会】（54年2月5日）

【事業委員会】（54年2月29日）

【事業委員会】（54年3月5日）

【事業委員会】（54年3月29日）

【事業委員会】（54年4月5日）

【事業委員会】（54年4月29日）

【事業委員会】（54年5月5日）

【事業委員会】（54年5月29日）

【事業委員会】（54年6月5日）

【事業委員会】（54年6月29日）

【事業委員会】（54年7月5日）

【事業委員会】（54年7月29日）

【事業委員会】（54年8月5日）

【事業委員会】（54年8月29日）

都市防災を最重点に

社団法人東京都造園緑化業協会は八月十九日、日比谷・松本楼で座談会「東京を安全な都市にするために」を開催しました。出席者は建設省と東京都の直接、防災、災害を担当している責任者、関東大震災を知りたい、下町で体験した生証人を招いて、官民一体で東京の防災、災害を考える座談会風景。そして「国と都の対策はこれでよいか――。官民一体になってもっとキドリが欲しい」ことに意見が一致しました。以下は座談会の全容です。

官民一体で東京の防災、災害を考える座談会風景

司会（高原栄重）　それでは、早速でございますけれども、ただいまから座談会を開かせていただきたいと思います。

本日はご多忙のところ、また雨天のところをお越しいただきましてありがとうございます。

広報委員会の方でも、その協会の趣旨に合わせて、都市防災でいきましたので、ちょうど三社様のご有名な三社様のご近くの方がいらっしゃいましたので、浅草公園、下町の関東の震災でございますが、その中でご協会としては、どういうことを実行していったらいいかというようなことを伺ってみたいと思います。

出席者の紹介は、先ほどの話ではわかっていただいたと思いますので、省略をさせていただきます。

それでは、初めに小柴さんからお願いします。

小柴さんは関東大震災の経験者だということを伺っております。小柴さんは関東大震災の経験者だということで、そのときの避難実務などいろいろ体験があったというようなところからお話を伺いたいと思います。

関東大震災の経験者

小柴美和　関東の大震災の経験者としてお話ですが、私と……。

司会　こちらの鈴木さんも被害者です。

小柴　私と鈴木さんが被害者。私、特にひどいと言われました浅草、下町の関東の震災でございましたので、ちょうど三社様のご有名な三社様のご近くの方がいらっしゃいましたので、小学校二年生の二学期の初めで被害の九月一日の関東大震災の日であった訳けです。幼い目のおぼろげな、その時の体験談が、いま、東京中で募集した、その時分のつづり方、作文ですが、それに入選しておりまして「関東大震災の思い出」という文集で一年生から高等小学校の二年までなどしか収録した作文集が当時見付かった因縁にあり、それを全日Kで見つけられ、それを全日Kでも放送されたということでございます。

「心のゆとり」ない

それは全部ワタカナで書かれた作文ですけれども、それを部分抜粋しましたときにつづく考えたのですが、あのクラクションと何回も火の海、逃げ場も考えることさえ出来ない「心のゆとり」は全くない幼い人間に変ってゆく理を体験されない方々、デスクの上での机上に不安でならないのです。でも、皆、第一線で研究していらっしゃる皆様方、わりあいに、戦災というものと関東大震災というのとはちょっと違っておりますから、そこ、物を見たいとか、そういうところへ行かれたけれど、できることだったら語部（かたりべ）のように、それを広く語の方々に伝えておけるというチャンスをと、考えなきゃならも出来ましたわけです。それだけに、きょうも若い主婦の方がいらっしゃいますが、うちの嫁とお姑さんという方もいらっしゃるのですで、平和になられた嬉しかも嬉しく思うと心配に……。

私の逃げたコースというのは第一段階の避難場、それから二百日に避難していた第二避難所、そして火の終わるのを待ったということになりまして、そのときのコースは浅草公園から上野公園だったのです。それはやはり町に住むものなれとでも申しますか……。

安政地震の教訓

それと私、ちょうど関東の震災のとき安政の地震を十一歳で受けたのいおばあちゃんがいらっしゃいまして、安政の地震の話を聞いておりますから、そこと同じように、物を見たいとか、何かと思っていてもひっきりなしに地面が揺れますから、船で同じような感じに目が回っちゃっていますから、ものを考えるなんていうような、どこかをなって、どうしたらいいかというように、どこ逃げたら自分の命が助かるかな、子供たちにどうしたらいいかとか、そのようなことはほとんど考えるゆとりはなかったということです。

二度目の揺れ返し

二度目の揺れ返しのときに、第二階（浅草公園の上野の丘）が倒れましたので、それで高層の方へ倒れたのがちょうど私の方でダダーンと音がして、ちょうど「福助たち」の看板ができいました。そのところから折れたわけです。

司会　第一避難場所まで徒歩でどれくらいの距離を逃げられたんですか。

小柴　私の家にすぐ近くでございます。

昔の公園は木が繁っていた

昔は公園というのはうんと木が繁っていて、いい場所がうんとございましたからね。ですから助かったと、関東の震災ではそう思っています。ですから、命を救ってくれた浅草公園、上野の山というと言うんですよ。大火災になってくれた浅草公園、上野の山ということなんですけれども、いまでは建物が建ち過ぎてしまって、あれは大火が入ったらどうなるかなと心配しています。

司会　九月一日ですからね。

小柴　ええ、とっても目眩りがしましたから、そこの公園の中へ――駆けましたっけね、あの目。

司会　九月一日ですからね。

小柴　ええ、とっても目眩りがしましたから、そこの公園の中へ――駆けましたっけね、あの

司会　浅草でもたくさんが……。

小柴　浅草のたくさんが一番大きかったんですね。

司会　そうですか。私はまた被服たばかと思っていましたものですから。

小柴　いえ、方々に。

小川海平　夕方ですかね。

小柴　夕方じゃないです。火が大分方々で出てきますから、私ということで、ですから大きな木の下にいればいいだろうというんで、そこへ――駆けましたっけね、あの

司会　九月一日ですからね。

小柴　ええ、とっても目眩りがしましたから、そこの公園の中へ――駆けましたっけね、あの

司会　浅草でもたくさんが……。

小柴　浅草のたくさんが一番大きかったんですね。

司会　そうですか。私はまた被服たばかと思っていましたものですから。

小柴　いえ、方々に。

小川海平　夕方ですかね。

小柴　夕方じゃないです。火が大分方々で出てきますから、私

社会に役立てたい

きょうの座談会を聞くようになりましたお縁をちょっと申し上げますと、私どもの協会としての五月に東都から社団法人という認可を得まして、やっと発足したばかりでございます。設立した趣旨は、緑化というような事業を通して社会に役立ちたいということで「社団」という名前をいただいたわけでございます。

協会の中でみんなで、協会としてもっとキドリが欲しいことに意見が一致しました。以下は座談会の全容です。

司会（高原栄重）　それでは、早速でございますけれども、ただいまから座談会を開かせていただきたいと思います。

本日はご多忙のところ、また雨天のところをお越しいただきましてありがとうございます。

広報委員会の方でも、その協会の趣旨に合わせて、都市防災でいきましたので、ちょうど三社様のご有名な三社様のご近くの方がいらっしゃいましたので、浅草公園、下町の関東の震災でございますが、その中でご協会としては、どういうことを実行していったらいいかというようなことを伺ってみたいと思います。

出席者の紹介は、先ほどの話ではわかっていただいたと思いますので、省略をさせていただきます。

それでは、初めに小柴さんからお願いします。

小柴さんは関東大震災の経験者だということを伺っております。小柴さんは関東大震災の経験者だということで、そのときの避難実務などいろいろ体験があったというようなところからお話を伺いたいと思います。

関東大震災の経験者

小柴美和　関東の大震災の経験者としてお話ですが、私と……。

司会　こちらの鈴木さんも被害者です。

小柴　私と鈴木さんが被害者。私、特にひどいと言われました浅草、下町の関東の震災でございましたので、ちょうど三社様のご有名な三社様のご近くの方がいらっしゃいましたので、浅草公園、下町の関東の震災でございますが、その中でご協会としては、どういうことを実行していったらいいかというようなことを伺ってみたいと思います。

出席者の紹介は、先ほどの話ではわかっていただいたと思いますので、省略をさせていただきます。

それでは、初めに小柴さんからお願いします。

小柴さんは関東大震災の経験者だということを伺っております。小柴さんは関東大震災の経験者だということで、そのときの避難実務などいろいろ体験があったというようなところからお話を伺いたいと思います。

「心のゆとり」ない

それは全部ワタカナで書かれた作文ですけれども、それを部分抜粋しましたときにつづく考えたのですが、あのクラクションと何回も火の海、逃げ場も考えることさえ出来ない「心のゆとり」は全くない幼い人間に変ってゆく理を体験されない方々、デスクの上での机上に不安でならないのです。でも、皆、第一線で研究していらっしゃる皆様方、わりあいに、戦災というものと関東大震災というのとはちょっと違っておりますから、そこ、物を見たいとか、そういうところへ行かれたけれど、できることだったら語部（かたりべ）のように、それを広く語の方々に伝えておけるというチャンスをと、考えなきゃならも出来ましたわけです。それだけに、きょうも若い主婦の方がいらっしゃいますが、うちの嫁とお姑さんという方もいらっしゃるのですで、平和になられた嬉しかも嬉しく思うと心配に……。

私の逃げたコースというのは第一段階の避難場、それから二百日に避難していた第二避難所、そして火の終わるのを待ったということになりまして、そのときのコースは浅草公園から上野公園だったのです。それはやはり町に住むものなれとでも申しますか……。

安政地震の教訓

それと私、ちょうど関東の震災のとき安政の地震を十一歳で受けたのいおばあちゃんがいらっしゃいまして、安政の地震の話を聞いておりますから、そこと同じように、物を見たいとか、何かと思っていてもひっきりなしに地面が揺れますから、船で同じような感じに目が回っちゃっていますから、ものを考えるなんていうような、どこかをなって、どうしたらいいかというように、どこ逃げたら自分の命が助かるかな、子供たちにどうしたらいいかとか、そのようなことはほとんど考えるゆとりはなかったということです。

二度目の揺れ返し

二度目の揺れ返しのときに、第二階（浅草公園の上野の丘）が倒れましたので、それで高層の方へ倒れたのがちょうど私の方でダダーンと音がして、ちょうど「福助たち」の看板ができいました。そのところから折れたわけです。

司会　第一避難場所まで徒歩でどれくらいの距離を逃げられたんですか。

小柴　私の家にすぐ近くでございます。

昔の公園は木が繁っていた

昔は公園というのはうんと木が繁っていて、いい場所がうんとございましたからね。ですから助かったと、関東の震災ではそう思っています。ですから、命を救ってくれた浅草公園、上野の山というと言うんですよ。大火災になってくれた浅草公園、上野の山ということなんですけれども、いまでは建物が建ち過ぎてしまって、あれは大火が入ったらどうなるかなと心配しています。

司会　九月一日ですからね。

小柴　ええ、とっても目眩りがしましたから、そこの公園の中へ――駆けましたっけね、あの

司会　浅草でもたくさんが……。

小柴　浅草のたくさんが一番大きかったんですね。

司会　そうですか。私はまた被服たばかと思っていましたものですから。

小柴　いえ、方々に。

小川海平　夕方ですかね。

小柴　夕方じゃないです。火が大分方々で出てきますから、私

「タツマキ」がおきる

そのうちに、ちょうどシカ猟荷という状態模様があって、そこの服装たばかと思っていましたものですから。

司会　そうですか。私はまた被服たばかと思っていましたものですから。

小柴　いえ、方々に。

小川海平　夕方ですかね。

小柴　夕方じゃないです。火が大分方々で出てきますから、私

恐ろしいタツマキ現象

小柴美和氏

上野の山陵へ逃げたらそれが大きくなりまして、関東の震災のときのあの絵葉紙なんそのはちょっとこにないでしょうか、人力車が巻き上げられたり、人間が巻き上げられたり、その当時、たつまきの中へみんな巻かれて空中へ飛んだ絵なを後から、売っておりました。

司会　浅草でもたくさんが……。

小柴　それは小さいのですか。

小柴　浅草のたくさんが一番大きかったんですね。

司会　そうですか。私はまた被服たばかと思っていましたものですから。

小柴　いえ、方々に。

小川海平　夕方ですかね。

小柴　夕方じゃないです。火が大分方々で出てきますから、私

「タツマキ」がおきる

そのうちに、ちょうどシカ猟荷という状態模様があって、そこの服装たばかと思っていましたものですから。

司会　そうですか。私はまた被服たばかと思っていましたものですから。

小柴　いえ、方々に。

小川海平　夕方ですかね。

小柴　夕方じゃないです。火が大分方々で出てきますから、私

恐ろしいタツマキ現象

小柴美和氏

上野の山陵へ逃げたらそれが大きくなりまして、関東の震災のときのあの絵葉紙なんそのはちょっとこにないでしょうか、人力車が巻き上げられたり、人間が巻き上げられたり、その当時、たつまきの中へみんな巻かれて空中へ飛んだ絵なを後から、売っておりました。

司会　浅草でもたくさんが……。

小柴　それは小さいのですか。

小柴　浅草のたくさんが一番大きかったんですね。

司会　そうですか。私はまた被服たばかと思っていましたものですから。

小柴　いえ、方々に。

小川海平　夕方ですかね。

小柴　夕方じゃないです。火が大分方々で出てきますから、私

東京を安全な都市にするために

出席者

小柴美知氏（地崎連）
上田康二氏（建設省都市防災対策委員）
小川海平氏（東京都環境対策本部主任）
柳北重子さん（主婦）
田村道子さん（主婦）

司会
高原栄重氏（広報委員長）

【下面からつづく】

10月までの行事予定表（協会主催）

1、現場代理人ハンドブック説明会の開催
【日時】九月十六日（金）九月十七日（土）午前九時から午後五時
【場所】渋谷区代々木神園町三丁目一番地
オリンピック記念青年総合センター
先着順一五〇名に限る

2、昭和五十二年「都市緑化月間」行事
(1) シンポジュームの開催
近年重要課題となっている都市防災に関して、これが緑地保全強化の高揚につとめ、積極的に緑化推進を図る必要性の提言をおこなうために開催する。
【後援】東京都
【開催日時】十月二十二日（土）午後一時～午後五時
【会場】渋谷区恵比寿一丁目一九番一三号
三会堂ビル
石塚記念ホール
電話八二七四五二

(2) 苗木無償配布
広く都民に苗木の無償配布をおこなうことにより、緑化の啓蒙意識を高め、住いの環境保全強化に役立てる。ひいては、都市美化環境の充実を図るために実施する。
【後援】東京都、渋谷区
【日時】十月二十三日（日）午後一時
【場所】渋谷区立公会堂前
【会場】都市緑地及教養
三、〇〇〇本

(3) 都民向緑本来人講習会の開催
広く都民に造園緑化技術の知識を普及し、緑化思想の啓発と緑化推進に携わる人の育成をはかる。
【講師】東京都
伊藤滋
東京工大
熊田禎宜
都公園緑地部長
川本昭雄
東京都造園緑地協会役員
高原栄重
東京消防庁
竹内吉平

【テーマ】防災に役立つ緑地のあり方
【講師】東京都教育
伊藤滋
東京工大
熊田禎宜
都公園緑地部長
川本昭雄
東京都造園緑地協会役員
高原栄重
東京消防庁
竹内吉平

【募集人員】一〇〇名
先着順
【参加費】無料

(4) 社会福祉施設視察
めぐまれない老人福祉施設（本年度は上町方面）を対象に、環境の浄化に役立てるとともに慰さめを与えることを目的とする。
【対象施設】
江戸川区江戸川一一四八
江南園
（社会福祉法人養護老人ホーム）
【開催日時】
昭和五十二年十月中
【参加費】無料

【下面からつづく】

荷物持ち込みを禁止した浅草公園

小柴　浅草は人で埋まったわけですね。

それが、父がその当時、区会議員をしておりましたので、浅草公園へ荷物を持ち出しては行けないというんで、浅草の観音様の回りは、非常線を張ってあの公園はきちっと出口があるんです。だからですから、そこへ全部ヒ隠と一緒に父が――父も浅草馬道で生まれた人間ですから、そこへ全部非常線を張って、逃げてくる人たちに、荷物を捨てなければ入れないと、被服廠全部荷物に穴が回ったなどと言っています。

避難場所をかえる

ところが浅草公園は、全部が引分けて荷物を一切持って入って

【3面からつづく】

対する浸潤精神の涵養のために実施する。
【後援】東京都
【日時】十月二十日（日）午前十時～午後二時～三分
雨天の場合は十月六日（日）同時刻
（午前学科、午後実習）
【内容】消火と救護及各種道具の扱方
【場所】調布市深大寺町二、七〇八
東京都神代植物公園
【募集人員】一〇〇名
先着順
【参加費】無料

(5) 社会福祉施設視察
めぐまれない老人福祉施設（本年度は上町方面）を対象に、環境の浄化に役立てるとともに慰さめを与えることを目的とする。
【対象施設】
江戸川区江戸川一一四八
江南園
（社会福祉法人養護老人ホーム）
【開催日時】
昭和五十二年十月中
【参加費】無料

被害想定を急ぐ地震対策

関東大地震の体験

靴下では逃げられない

【2面からつづく】

……こと。

司会　浅草から上野へ行かれるはずはない、荷物を持って人間だけ入れたんですね。そのため助かったと思います。父がそれで、自分は警備に次第出て、婦人、老幼、子供の家族をまず安全なところというので、上野公園へ連れて行き、居の番頭と打合せをしたようです。

震災の四年前でしたが、私が四つのときに田町の大火というのがあったんです。青山から出火してそれで全部焼えて、高間橋の通りでそれがとまっているんです。その時、避難の経験があります。けれども、今度はそんなとまるようなんではないと。それで消防車は全部、あの時分、浅草公園に二台半、そうすると隅田川へ流れ込まないようにというので、ちゃんとこのところへみんな避難しろ、一番家のそばへ人間をもってきたんですよ。消防車はもう火を消してられないわけね。だから、自動車を使わないように消防車も避難しちゃったから、これはちょっとにもならない。火消すものはないんだ、燃えるだけ燃えるだろうと風が強くなったら燃えるいく先が安心できるんですから、浅草公園も大丈夫だというんで、夕方、六時過ぎてから今度は避難所として上野の山の方へ行って、それで両大師の中に入った建物が古く金震で、それがいつ倒れるか、そこからまた、最終にはもっと危険でないところというんで博物館のわきまで逃げ終ったんです。そのように、やはり避難所を変えながらということ。

司会　浅草から上野へ行かれるはずはない、荷物を持って人間だけ入れたんですね。

小柴　燃えていないうちにですね。

司会　では、早く逃げられるわけですね。

タビを枕元に

小柴　それと、ひいおばあさんがいましたもので、火に追われれば、浅草は西風が吹くんだそうです。地理を知っているんですね。火事は西風が起きるんだと、だから風に向かって逃げちゃだめだというんです。風上へ逃げるというけれども、風下だと火に追われて、そして逃げていった先に隅田川。そうすると隅田川へ逃げ込まないように、おばあさんが、水を用意して逃げてはならないと。水を用意する分にはいいけれども、水を前に置いて逃げることは絶対いけないって、何かそういうこと言い伝わっていたのが、災害に対する心構えでもいろいろ、そういうものは小さい時分からだったのと、それからいつ地震が起きるかもいろいろにといって、コハゼのついたタビはいつでも枕元に置いて寝る。

北村寿子　はだしで逃げると危いという……。

小柴　そうそう。はだしで逃げたら逃げられない。それからくつ下は人に踏まれるとツルンと滑ける。だからコハゼのようだったら大丈夫だというんで、私は小さい時分から、いつ災害が起きても、いようにといって、頭のところへ靴下を置いておくんですよ。（笑い）

孫たちはダメ

そんな心構えしかございませんけれども、何しろ激烈な揺れでございますからね。約何分位きそこでございますかね。三月十日の戦災で子供を失い、焼け出された時より地震は長にして次だけでしたら時間中ゆとりと昼で明るかった点もあるけれども、いまこうはたいでですね。だから平和過ぎて……。

司会　昔は関東時代から大火事がしょっちゅうありましたから。

小柴　ありますね。

北村　そんなにあるとなくていいということですね。

小柴　地震はいつまでも大きく揺れているわけじゃないですからね。

司会　時間はあるわけですね。

北村　火事は本場（深川）あるをいうと多いですものね。著

柳田寿子　火事は本場（深川）あるをいうと多いですものね。著

司会　時間はあるわけですね。

小柴　ありません。

司会　時間はあるということは理解できるということですね。

小柴　真心動き逃げて来て風向きが変わるというようなことがありますので、小島町の一間が残っていれば結構と。いまにやっていこうんですよ。（笑い）

小柴　はい。それと、荷物を持ち込まなかったというのは大きな理由だと私は思いますね。それという観念をはっきりさせる必要があるわけですね。そのようなことを被害想定というのを現在やっていまして、できれば年内には発表できる段階まで持っていきたいと思ってやっておるわけです。

その内容は、いま小柴さんもお話ございましたが、関東地震のときの状況を克明に現在の科学の目で見直してもらって、吟味するという方法でやっておるんです。

ああいうような大きな地震になりますと、たとえばガス管が崩れるとか、地盤が液状化現象であるとか、いろいろな地盤自体が壊れるという災害もあり、つづいて建物がよけい壊れるというように「事態に」上野の周辺が焼けてしまった。関東大震災、二つのがれていますね。あの戦災、二つのがれていますね。あの朝鮮市のたつ入会、あそこへ行くと鬼子母神がどんなに面がっちゃっていますけれども、あれは関東大震災をまぬがれてますから、やはりどういうわけかあそこならば火を掛ける場所なのかもしれませんね。

司会　ありがとうございました。

小川さん。いま、大体関東大震災と同じくらいの規模のものが起きたら、東京などの程度で被害が出るか、もし被害予測がありましたら……。あるいはもっと違ったパターンで研究されているかもしれませんが、それが一度ときまれば、そして様子を見ていればいま一度家へ帰れますから。家の戸を蓋あけて逃げ道を開けることが、第一。次は第二にフトンと綿ダライをかぶって逃げたんです。それまでは家の中にいました。

小川　浅草公園の北の方は関東地震のとき焼け残っていますね。

小柴　残ったところもありました。

小川　あれは、地元の人がかなり一生懸命消防をおやりになったということでそうなったわけでしょうね。

荷物を持ち込まないこと

小柴　真心動き逃げて来て風向きが変わるというようなことが、つづいて建物がよけい壊れるというように「事態」になるとか、あるいは水道が崩れるとか、いろいろな地盤自体が壊れるという災害もあり、つづいて建物が崩れるというように、荷物を持ってこないこと、これが一番大事だと思います。

小川　地震対策をするのにはどのくらいの災害の状況になるかという前提をはっきさせる必要があるわけですね。そのようなことを被害想定というのを現在やっていまして、できれば年内には発表できる段階まで持っていきたいと思っておるわけです。

その内容は、いま小柴さんもお話ございましたが、関東地震のときの状況を克明に現在の科学の目で見直してもらって、吟味するという方法でやっておるんです。

ああいうような大きな地震になりますと、たとえばガス管が崩れるとか、地盤が液状化現象であるとか、いろいろな地盤自体が壊れるという災害もあり、つづいて建物がよけい壊れるというように「事態」になるとか、あるいは水道が崩れるとか、いろいろなことになっていくわけです。

そこで、できるだけ計量的にできるものはしてみようということで、たとえば木造建物が都内でどのくらい焼けるであろうかとか、ガラ崩れがどのくらい壊れるであろうとか、あるいは火事で大体どのくらい焼けるであろうかということをまず調べてみるということで、大体いま申しましたような作業を終わっております。

負傷者は最悪の場合

次にそれを受けまして、そちらずるとトータルとして、まとにたどれば木造なのとたどるというようにあるいはおしゃりを滑けるかもしれませんけれども、人がどのくらい負傷するであろうか、あるいは最悪の場合、何人ぐらいになるであろうかというようなことを時間、関東地震パタパタやられている。それがどっちへ行きますかというのが、できまして、盛川という川があり、あの付近がやはり安政地震で、付近というのは、神田川の付近、神田神保町付近とか、都心付近、原宿十番の付近というように、神田川であるとか目黒川であるとかいう川沿いがやられている。

そのようなのをよく調べまして、被害の実態を極力組み込んだ形で、建物の被害を見ようというのが、現状でございます。

次が火事でございますが、関東地震にきましては非常に危険だと、いま申しました隅田川というのが、あるいは内部の中小河川というのが、できまして、根岸付近は黄、盛川という川があり、最悪の場合、何人ぐらいになるであろうかというようなことを時間、関東地震パタパタやられている。それがどっちへ行きますかというのが、できまして、盛川という川があり、根岸付近は黄、盛川という川があり、あの付近がやはり安政地震で、関東地震パタパタやられている。それがどっちへ行きますかというのが、できまして、現在その作業をやっているところでございます。

そこで、その内容について申しますと、建物について二つの例を挙げて説明しますと、浅草は現在台東区でございますが、あすこなどを調べてみますと、浅草を焼いて南側の方は建物が非常に壊れにくい。実際、壊れていないんですね。それに対して北の方はめちゃめちゃくらい壊れている。というふうに、建物の壊れるところは地盤に非常に密接していると申しましょうか、隅田川をはさみまして、下からおしきますと、江東区の西側半分、それから上のほうへ行くと墨田区の西側、合東区の北半分、それから上に行って北区とか荒川区とかいうところが、盛川沿いかどういうふうにぬった形で非常に壊れていまして、関東地震のときなんかは、千住であるとか王子であるとかいうようなところを見ますと、三割、四割の壊れ方をしております。それに対しまして、いま申しました台東区の南の方でしたら、壊れているのがせいぜい一％か二％というふうに、地域偏差が百倍くらいの開きが出ていますね。

被害多い中小河川

そういうのは地盤との関係であるというふうになるわけでございまして、そういう目から見ますと、……

【4面につづく】

上田　康二氏

被害の開きに地域偏差

木造建築の密集地

あともう一つ忘れてはいけないのが、火災がどうなるかということでございます。明治以来、人間が地下水のくみ上げをしたということをきまして、現在、地盤沈下とくらべると数百倍地盤沈下がっているというふうに、いま申しました盛川沿いであるとか、あるいは内部の中小河川というのが、できまして、根岸付近は黄、盛川という川があり、最悪の場合、何人ぐらいになるであろうかというようなことを時間、関東地震パタパタやられている。それがどっちへ行きますかというのが、できまして、現在その作業をやっているところでございます。

そこで、その内容について申しますと、建物について二つの例を挙げて説明しますと、浅草は現在台東区でございますが、あすこなどを調べてみますと、浅草を焼いて南側の方は建物が非常に壊れにくい。実際、壊れていないんですね。それに対して北の方はめちゃめちゃくらい壊れている。というふうに、建物の壊れるところは地盤に非常に密接していると申しましょうか、隅田川をはさみまして、下からおしきますと、江東区の西側半分、それから上のほうへ行くと墨田区の西側、合東区の北半分、それから上に行って北区とか荒川区とかいうところが、盛川沿いかどういうふうにぬった形で非常に壊れていまして、関東地震のときなんかは、千住であるとか王子であるとかいうようなところを見ますと、三割、四割の壊れ方をしております。それに対しまして、いま申しました台東区の南の方でしたら、壊れているのがせいぜい一％か二％というふうに、地域偏差が百倍くらいの開きが出ていますね。

そうすると隅田川へ流れ込まないようにというので、ちゃんとこのところへみんな避難しろ、一番家のそばへ人間をもってきたんですよ。消防車はもう火を消してられないわけね。だから、自動車を使わないように消防車も避難しちゃったから、これはちょっとにもならない。火消すものはないんだ、燃えるだけ燃えるだろうと風が強くなったら燃えるいく先が安心できるんですから、浅草公園も大丈夫だというんで、夕方、六時過ぎてから今度は避難所として上野の山の方へ行って、それで両大師の中に入った建物が古く金震で、それがいつ倒れるか、そこからまた、最終にはもっと危険でないところというんで博物館のわきまで逃げ終ったんです。そのように、やはり避難所を変えながらということ。

司会　浅草から上野へ行かれるはずはない、荷物を持って人間だけ入れたんですね。そのため助かったと思います。父がそれで、自分は警備に次第出て、婦人、老幼、子供の家族をまず安全なところというので、上野公園へ連れて行き、居の番頭と打合せをしたようです。

震災の四年前でしたが、私が四つのときに田町の大火というのがあったんです。青山から出火してそれで全部焼えて、高間橋の通りでそれがとまっているんです。その時、避難の経験があります。けれども、今度はそんなとまるようなんではないと。それで消防車は全部、あの時分、浅草公園に二台半、そうすると隅田川へ流れ込まないように、おばあさんが、水を用意して逃げてはならないと。水を用意する分にはいいけれども、水を前に置いて逃げることは絶対いけないって、何かそういうこと言い伝わっていたのが、災害に対する心構えでもいろいろ、そういうものは小さい時分からだったのと、それからいつ地震が起きるかもいろいろにといって、コハゼのついたタビはいつでも枕元に置いて寝る。

北村寿子　はだしで逃げると危いという……。

小柴　そうそう。はだしで逃げたら逃げられない。それからくつ下は人に踏まれるとツルンと滑ける。だからコハゼのようだったら大丈夫だというんで、私は小さい時分から、いつ災害が起きても、いようにといって、頭のところへ靴下を置いておくんですよ。（笑い）

孫たちはダメ

そんな心構えしかございませんけれども、何しろ激烈な揺れでございますからね。約何分位きそこでございますかね。三月十日の戦災で子供を失い、焼け出された時より地震は長にして次だけでしたら時間中ゆとりと昼で明るかった点もあるけれども、いまこうはたいでですね。だから平和過ぎて……。

司会　昔は関東時代から大火事がしょっちゅうありましたから。

小柴　ありますね。

北村　そんなにあるとなくていいということですね。

小柴　地震はいつまでも大きく揺れているわけじゃないですからね。

司会　時間はあるわけですね。

小柴　ありません。

司会　時間はあるということは理解できるということですね。

小柴　真心動き逃げて来て風向きが変わるというようなことがありますので、小島町の一間が残っていれば結構と。いまにやっていこうんですよ。（笑い）

小柴　はい。それと、荷物を持ち込まなかったというのは大きな理由だと私は思いますね。それという観念をはっきさせる必要があるわけですね。そのようなことを被害想定というのを現在やっていまして、できれば年内には発表できる段階まで持っていきたいと思ってやっておるわけです。

その内容は、いま小柴さんもお話ございましたが、関東地震のときの状況を克明に現在の科学の目で見直してもらって、吟味するという方法でやっておるんです。

ああいうような大きな地震になりますと、たとえばガス管が崩れるとか、地盤が液状化現象であるとか、いろいろな地盤自体が壊れるという災害もあり、つづいて建物がよけい壊れるというように「事態」になるとか、あるいは水道が崩れるとか、いろいろなことになっていくわけです。

そこで、できるだけ計量的にできるものはしてみようということで、たとえば木造建物が都内でどのくらい焼けるであろうかとか、ガラ崩れがどのくらい壊れるであろうとか、あるいは火事で大体どのくらい焼けるであろうかということをまず調べてみるということで、大体いま申しましたような作業を終わっております。

負傷者は最悪の場合

次にそれを受けまして、そちらずるとトータルとして、まとにたどれば木造なのとたどるというようにあるいはおしゃりを滑けるかもしれませんけれども、人がどのくらい負傷するであろうか、あるいは最悪の場合、何人ぐらいになるであろうかというようなことを時間、関東地震パタパタやられている。それがどっちへ行きますかというのが、できまして、現在その作業をやっているところでございます。

そこで、その内容について申しますと、建物について二つの例を挙げて説明しますと、浅草は現在台東区でございますが、あすこなどを調べてみますと、浅草を焼いて南側の方は建物が非常に壊れにくい。実際、壊れていないんですね。それに対して北の方はめちゃめちゃくらい壊れている。というふうに、建物の壊れるところは地盤に非常に密接していると申しましょうか、隅田川をはさみまして、下からおしきますと、江東区の西側半分、それから上のほうへ行くと墨田区の西側、合東区の北半分、それから上に行って北区とか荒川区とかいうところが、盛川沿いかどういうふうにぬった形で非常に壊れていまして、関東地震のときなんかは、千住であるとか王子であるとかいうようなところを見ますと、三割、四割の壊れ方をしております。それに対しまして、いま申しました台東区の南の方でしたら、壊れているのがせいぜい一％か二％というふうに、地域偏差が百倍くらいの開きが出ていますね。

被害多い中小河川

そういうのは地盤との関係であるというふうになるわけでございまして、そういう目から見ますと、……

【4面につづく】

業界一
造園用黒土販売
◎多少にかかわらず販売致します
〒158　東京都世田谷区玉川台1—16—9
株式会社　金島商店
代表（700）3775　夜間（700）0410

東京と緑
—緑ゆたかな環境づくりに
たゆまず貢献するうつぎ—
㈱東京支店
東京都大田区田園調布2—45—9　TEL03—721—9466代
支店営業所　千葉県印旗郡四街道町大日緑ヶ丘320—5　TEL0472—82—6740
本　社　横浜市神奈川区沢渡1—2　TEL045—311—6668

パニック状態をさけたい

障害になるクルマ火災

何を教えたか避難訓練

【3面からつづく】

に、これはまさに人間公害にしようね。その結果、東京湾の港区などが低い地域というのが現在、非常に広がっているわけです。そういうところは、いまや護岸、堤防で平常は維持していますけれども、さて地震のときに護岸が壊れるとか、堤防が壊れるというおそれもあり得るわけですね。もちろん、それについての実情の検討もいたしておりますけれども、今後検討してもらわなくちゃいけない点だと思いますね。

かさ上げの河川護岸

小柴　荒川護岸というのはかさ上げ、かさ上げ、地震だけで、うちあたりの江東区でも一ヶ所で三回くらいのかさ上げをしていますから、その間、コンクリートがとこまでもつかですね。

小川　そうですよね。

それにあと一つ、数字で震度すると なかなかできないんですけれども、落下物というのがこわいんですね。

北村　それが一番こわいですね。

小川　これは経験を申しますと一九六五年、静岡地震というのがあったわけですけれども、そのときに、建物は倒れないのに窓ガラスなんかポンポン壊れちゃって、それが人にくくなったということで注目を浴びたわけです。

この間のルーマニア地震でも、やはり頭をけがした人が一番かったと言われております。すなわち、落下物で けがした人が一番多かったということですね実際、皆傷のものに対する安全性、そういうのを具体的に知りたいなと思います。むしろ家の中にいた方が一番安全だともしれませんし、そういった貴物に対する一つの安全性といえばどうでしょうか、小さい子供を持っていてとっさに逃げようというよりも、まずとっさに飛び出したらいけないのかという、むしろいけない場所を教えてほしいようなきもします。

ハンドルとられる

小川　現在のところをちょっとご説明しますと、まず車ですけれども、前に一九六八年ですか十勝沖地震というのがございましたが、そのときのことを調べた人の記録によりますと、地震中もハンドルをとられちゃって運転がすごくむずかしくなるとのことです。ですから暴走するというのは、地震のとき自体にはむしろできない。本人自身もしないだろうと私は思いますね。それからもう事がどうかということですが、データを見ますと、大体木造建物が燃える早さとほぼ同じ早さで燃えるというふうにいわれております。ですから駐車場があってそこに車がたくさん入っているとすれば、そこに木造建物がある状態というふうにいろいろ考えなければよかろうと思います。

司会　木造は、発火して大体五分目ぐらいで燃え落ちてしまいますから、自動車も大体それぐらいのスピードですね。

小川　そういうことでございます。

延焼の手助けに

司会　隣の家が燃えはじめて、駐車しているとガソリンをみんな積んでいるから、やはり燃え出すでしょうね。

小川　そういう可能性はございます。

小柴　延焼の手助けをしているというのは学いんかんがありますね。こっちの家から次の家へ出たら、いっちゃったというのは、うちのわきの火災で二つ目ですね。

それに私、自動車が一番こわいなと思うことは、逃げるときに自分の家の前がすいていますと、自動車というのは一つの凶器なんですね。ですから、自動車に荷物を積んで、関東の震災のときには荷車だったんですよ。荷車に積んでガラガラ引っ張って逃げるわけですけれども、いまの家具類というのは燃えやすいものばっかりでしょう。それで自動車に積んで家の前を出発していくときはいんですね、避難所というのの指定されてますでしょう。この途中でも乗り捨てなければならないようなって必ず出るんじゃないかと。

そうしますと、走っていく道というのは避難路ですね。うちの方だったら三ツ目通り、あれをずっと行かなければ、夢の島まで、何しろ避難していく場所に中継所みたいな、建設省の方で、「避難広場」とでも言いますが、その避難広場というのがないですよね。ですから、どうしても子供の手を引いてお母さんたちが逃げることはなかなか不可能ということを、幼稚園で実験やったが……。

ぞっとした体験

柳田　去年でしたか、江東区全体で避難訓練が一度あったときに私、小さいのを二人、あと二人は幼稚園に行っていたのでそちらから参加するというんで、実際にリュックを背負わせて、あのときは清澄公園の隣が強度中の公園になっていてそちらに行ったんですけれども、あのとき、何となしに子供もハイキング気分でしたが、実際に防災学きゅんを配って子供がゾロゾロ行くのを見たらどうなんだろうと思った。本当に背筋が寒くて寒くて、子供が動いてくれないというんです。訓練でも、子供は走ってはいけないからはしらないと言われるから走らない。何となくいませんが、座ったきり動き考えていたんだと、大変な数になっていっちゃうわけですね、ですから、どうしても先へ行った人が陣取りをやりますわね、そうすると後から来る者は入れないと。そのあたりの数字が実際ね、小川先生。そこが実践をやった人間からすると、とてもじゃないけれども、いまのは甘いですね。

北村　確かにそうですね。

私どもでも六月八日ですか、都の防災の日か何かにやったわけですけれども、学校が火災に遭うからという想定で、すぐ自分の前の本願寺に子供を誘導したんです。

そうしますと、やはり同じようにロープにつかまるんですけれども、先頭の先生は、引っ張るのが上手なんですね。ですから、

空地管理とトラブル

水を吹くイチョウ

どうする防災拠点予定地

【4面からつづく】

高層住宅の人たち

上田　避難地を取巻く住宅そのものは当然避難しなければいけないということになると思うんです。高層住宅をつくっていますけれども、あのままあそこへ住んでいていいということにはならないでジャッターがおりたりするような装置をつくっていますけれども、そのままそこにいる人は少しでも安全ということでNO避難しなければいけないということになって、住宅そのものはただ防火壁的な役割りしかないだろうと思うんです。

ただ、あういうもので囲まれた中がたつまきに対しても安全かどうか、まあ絶対に対してはそれなりに理論的にはっきりしていると思うんですけれども、たつまきの問題というのは理論的にまだはっきりわかってないようですね。

司会　気象庁の相馬さんという人が研究しておられますね。

小川　あの方に頼みまして、避難場所をどうかという検討を現在お願いしております。

司会　たつまきに対する安全度ね。

小川　はい。

小柴　それと、周りとの問題ですよね。平和時の住宅対策ですよね。

私が二番おそれることは、きょう越しできた人は地のりがわかない。そして江東区を知らないです。歴代の災害の中にたくましく生きてきた人間はいいけれども、よそからみんな……。ところが、そういうなまぬるい人間はみんな老齢人口になっちゃっているわけ。土地を離れない。老齢人口のところへもってきてまたわからない連中が越してくる。そして住宅を増築をとっておいて、外部の者がそこへ逃げ込めるかっていうんですよね。

住宅対策に一考

ですから、私は人口を危険なところに余りよさないような、住宅対策も一つやるならば、人間の避難しなければいけないようなすっそこにくっつけておきたいと、それが第一論なんですよ。

上田　そういう人たちを住宅に火性能が高いといわれています。

小柴　イチョウの木を各社の周りに植えたという知恵は、イチョウが一番燃えにくく、水分をたくさん持っていて、そしてイチョウの木が水吹くというんです。だから、各社の周りにはイチョウの木を植えておけばよかった。昔の人の知恵は、防災拠点なんかから思ったら実にとりっぱだって。

松本楼の火事のときに焼けたのはこっちですか。あれは全焼けたものね。あれにコンクリを入れてでしょう。けれど、あの当時のお金がないくらい、全部ダメになっちゃって、松本楼の火事にはあのイチョウが助けましたよね。

そのことを考えると、樹木の育てかたが……これは何年ですよね。

……そういうことができないならば、私はビルの上から水を、中へなんか水をまいたってしょうがないんだから、全部ビルから吹くような装置をつけたもの防災拠点をつくってくれと言ったら、予算が……。

司会　でも小柴先生、地震によって水道管が破裂するでしょうからね。

小柴　貯水槽を持ってそれでやってといって、それから避難路の両側の道路の下へは貯水槽をいま一生懸命つくっていただいているけれども、ああいうふうなものを方々に水をためておく。

上田　そうですね。ああいうものは必要でしょうね。

小柴　昔、各家庭に用水というんで土間に置いてあった。それがいまないでしょう。いまの若いお母さんなんて、ごめんなさい。（笑い）やかんにいっぱい水をくんでおくのも、からっぽのままでかかないましたので。

上田　ただ、あの場合に備りの一般住宅を相当広間にわたって不燃化しなければいけないという問題が残っているわけです。理論的にいえば、三百坪ぐらいの間で不燃化しがないと中の安全が確保できない。といわれています。それを、いま住宅に住んでいる人たちに自分で一定期間内に、耐火構造に建て替えをしなければいけないことになるわけですね。

木場の移転したあと

これは、事業としてはある意味ではまだやりにくい。強制力をもってやるということがなかなかできないので、どれだけの協力を得られるか。その点、自治方式というのはある意味では手っ取り早いという面はあると思うんです。その間、何で子供たちに開放しなければいけないという条例がでてきているんですよね。その本家本元が意味はっきりにして、近所の者も入れないでカギをかけておく。

防災拠点の予定地

だから、そういうことがいろいろな意味の不信にイコールつながっていくんですよね。それだったら空地になっている間、子供に一時開放しておいたっていいじゃないかと言うと、今度取り返すときにいろいろ問題が出てくる。

上田　でも、ボソボソ通っておりますが。

小柴　それでまた小川先生からもし十二月ごろ緊急が出たとすれば、脅かすために緊急するのかというようなことをも出てきて、そして植木などをみんなとして持ち寄って、植えるようにしているんですから、そういうようなことをせめて、ただいま研究中でいらっしゃるかもわからない防災拠点の構想あり、また下町に特に四日の通り の通り町、そして住吉の貯木場、最終公園ですよね。あそこもある。予定地がうんとあるんですけれども、予算がないから一つも手がつかないという状態で遅々として進まない。

小柴　本当にいまおっしゃるように、かえって被害なんかへ行きますと、バスのとっかって入っていくとうなどとか、世田谷なんかの家屋の密集地帯などでの各地域、私の方の地区の方が木密化

北村重子さん

木場の防災拠点

そういうようなことで防災拠点の、お宅（建設省）でやってくださった、森林公園にある程度考えてくださいましたね。木場防災拠点、あれは実に結構なことです。おれを申し上げます。三千万円の調査費をつけてくださったそうで……。

上田　事業計画については、現在、検討されているようですけれどもね。

どういう方式がいいかは一概にはいえない。それから吸収能力を少しでも高めなければとてもあれだけの人口を吸収するというのはいろいろ問題が残っているわけです。

ですから、自治方式と木場方式でどっちがいいかというのは、二者択一というよりは周辺の市街地の状態によってきめるべきだと思うんです。木場方式の場合は、われわれはいま対策を考えているわけですけれども。

司会　途中でちょっと悪いんですけれども、木場方式というのは……。

上田　高層住宅なんかにある通みがしゃなくて、歩くように意識の公園。

司会　小柴先生のおっしゃった森林公園。

柳田　ただ、みんな金網を張っちゃって入っちゃいけないというの？

小柴　いざとなりゃ、あんなのをひっちゃえばいいんですよ。

柳田　切るにも何にしても……。

小柴　民間の空き地だと役所は、草を生やしちゃいけない、刈らなっちゃいけないという条例がでてきているんですよね。その本家本元が意味はっきりにして、近所の者も入れないでカギをかけておく。

小柴　まあ、何にも考えないで木場が新木場へ移転していった後、空地で置いてもらうのが一番いいなろうというのが、区民の声ですか。

柳田　ただ、みんな金網を張っちゃって入っちゃいけないというのは意味の不信にイコールつながっていくんですよね。それだったら空地になっている間、子供に一時開放しておいたっていいじゃないかと言うと、今度取り返すときにいろいろ問題が出てくる。

小柴　ですから、一札入れますから貸してください言って町会が借りて、そこを一時遊び場にしていいというと言っているんであれば、いろいろな計画が固まるまでの間、何で子供たちに開放しないか、つくづくそれを思います。

小柴　ようやくわれわれの念願が叶いましたので。

上田　ただ、あの場合に備りの一般住宅を相当広間にわたって不燃化しなければいけないという問題が残っているわけです。理論的にいえば、三百坪ぐらいの間で不燃化しがないと中の安全が確保できない。といわれています。それを、いま住宅に住んでいる人たちに自分で一定期間内に、耐火構造に建て替えをしなければいけないことになるわけですね。

木場の移転したあと

これは、事業としてはある意味ではまだやりにくい。強制力をもってやるということがなかなかできないので、どれだけの協力を得なくて、遊び場がなくて、狭い裏

空地の管理に心配ごと

それから一番危険なのは、セイタカアワダチ草というんですか、あれがこんなんですね。女の子を持つ親としてみれば、ときたま金網の切れているところもありますよね。そうすると、うっかりあの辺、歩かされないというんです。視角が全然ないところに連れ込まれちゃったりして。

昔庚はそうでなくても公園がなくて、遊び場がなくて、狭い裏に子供の遊園地を取りあげたと言うからとか、施設は何にもしないでいいと、そうすると、一時開放させれば子供がけがしたときの補償を役所に請求されはかなかなかいからかって……。

司会　よくご存じで……。（笑い）

小柴　本当に百本入って、広い土地をあけておくことに対して知恵のない、その問だけだって一時、公園にしておいたっていんです。

柳田　それとも、借地じゃないんですけれども期限を決めてもいいと思うんですよね。いついつころまでは、ここを、開放なら開放しますと、期限つきでも構わない。

司会　けがをしても責任もたぬと言うね。

小柴　ですから、一札入れますから貸してください言って町会が借りて、そこを一時遊び場にしていいというと言っているんであれば、いろいろな計画が固まるまでの間、何で子供たちに開放しないか、つくづくそれを思います。

小柴　民間の空き地だと役所は、草を生やしちゃいけない、刈らなっちゃいけないという条例がでてきているんですよね。その本家本元が意味はっきりにして、近所の者も入れないでカギをかけておく。

小川　王子地区も防災拠点の構想あり、また下町に特に四日の通り の通り町、そして住吉の貯木場、最終公園ですよね。あそこもある。予定地がうんとあるんですけれども、予算がないから一つも手がつかないという状態で遅々として進まない。

小柴　本当にいまおっしゃるように、かえって被害なんかへ行きますと、バスのとっかって入っていくとうなどとか、世田谷なんかの家屋の密集地帯などでの各地域、私の方の地区の方が木密化

ほかにもたくさんあるんですけれども、だんだんにはやっていくんじゃないでしょうか。

小柴　ですから、一札入れますからかえって被害なんかへ行きますと、バスのとっかって入っていくとうなどとか、世田谷なんかの家屋の密集地帯などでの各地域、私の方の地区の方が木密化

ほかにもたくさんあるんですけれども、だんだんにはやっていくんじゃないでしょうか。

危険地域が山の手へ

柳田　切るにも何にしても……。

小柴　いざとなりゃ、あんなのをひっちゃえばいいんですよ。

柳田　ただ、みんな金網を張っちゃって入っちゃいけないというの？

小柴　民間の空き地だと役所は、草を生やしちゃいけない、刈らなっちゃいけないという条例がでてきているんですよね。その本家本元が意味はっきりにして、近所の者も入れないでカギをかけておく。

小川　王子地区も防災拠点の構想あり、また下町に特に四日の通り の通り町、そして住吉の貯木場、最終公園ですよね。あそこもある。予定地がうんとあるんですけれども、予算がないから一つも手がつかないという状態で遅々として進まない。

小柴　本当にいまおっしゃるように、かえって被害なんかへ行きますと、バスのとっかって入っていくとうなどとか、世田谷なんかの家屋の密集地帯などでの各地域、私の方の地区の方が木密化

ほかにもたくさんあるんですけれども、だんだんにはやっていくんじゃないでしょうか。

危険地域が山の手へ

上田　でも、ボソボソ通っておりますが。

小柴　それでまた小川先生からもし十二月ごろ緊急が出たとすれば、脅かすために緊急するのかというようなことをも出てきて

【6面につづく】

山の手方面の危険地域

上田　いまもお話がありましたけれども、山の手方面は非常に危険な地域がたくさんあるわけです。避難地もろくにないというような、やはりこういう地域をどうするかというと、本当は対策が立たない。要するに、まもまった広い避難地をつくりようがない。住宅を撤去するなんていうわけにもいかないきませんからね。そういう非常に手かしにくいところがつくるわけにもいかないんですよ。

小川　王子地区も防災拠点の構想あり、また下町に特に四日の通り の通り町、そして住吉の貯木場、最終公園ですよね。あそこもある。予定地がうんとあるんですけれども、予算がないから一つも手がつかないという状態で遅々として進まない。

小柴　本当にいまおっしゃるように、かえって被害なんかへ行きますと、バスのとっかって入っていくとうなどとか、世田谷なんかの家屋の密集地帯などでの各地域、私の方の地区の方が木密化

ほかにもたくさんあるんですけれども、だんだんにはやっていくんじゃないでしょうか。

上田　でも小柴さん、江東も木十分ながらやっていますよね。江東の場合は、昔かなり大工場があって移転とか、まあ木場があったとか、そういう利用できる土地があるからあれだけ対策ができているわけです。

小柴　危険指定地が山の手へ。

山の手方面の危険地域

上田　いまもお話がありましたけれども、山の手方面は非常に危険な地域がたくさんあるわけです。避難地もろくにないというような、やはりこういう地域をどうするかというと、本当は対策が立たない。要するに、まもまった広

ふそくさっちゃっているわけですよ。江東地区は現ら何万人死ぬであろうなんて、よく新聞なんかは数字で出ると天けさに寄ってしょう。

上田　でも小柴さん、江東も木十分ながらやっていますよね。江東の場合は、昔かなり大工場があって移転とか、まあ木場があったとか、そういう利用できる土地があるからあれだけ対策ができているわけです。

小柴　危険指定地が山の手へ。

山の手方面の危険地域

上田　いまもお話がありましたけれども、山の手方面は非常に危険な地域がたくさんあるわけです。避難地もろくにないというような、やはりこういう地域をどうするかというと、本当は対策が立たない。要するに、まもまった広

【6面につづく】

枝木、残材、残土、ガラ
収集、運搬、終末処理
（有）丸利根産業
〒181 東京都三鷹市大沢四-八-三三
電話（〇四二二）（三二）九〇八七

CeRenga セレンガ
無限にひろがる組立式花壇……
マコト工業株式会社
〒164 東京都中野区弥生町1丁目40番5号
TEL. 03 (372) 6371 (代) ～5

絶対に必要な〝ミドリ〟

都心の駐車場に問題

【5面からつづく】

はずんだん通ることいますからね。

清水　何しろ世田谷などは夕クシーでも、土地のタクシー以外は道を一本間違えても出られなくなってしまう。運転手いですしね。

一回、経堂の辺でどうしようと思っていましたら、川崎のタクシーを拾ったんですよ。当時自時代でして、私の車を後から追っていってくれるお客様を乗せると、何しろどこで東京のおを拾うと営業停止になっちゃうんだと、けれどもそれにはかられない。何とか渋谷迄運れていってくれというんで話し合いがつきまして、

柳田道子さん

まして乗っかって渋谷に来たことがありますけれども、あの中へ入っちゃって土地のタクシー以外はなかなか出られないそうですね。

いま何をやったら

司会　それでは、時間もだんだん少なくなってまいりますので、町全体を安全にするということのためでも結構ですし、あるいは自分や自分の家族の生命と財産を守るための提案でも結構ですけれども、いま何をやったら、一番有効かというようなことを柳田さんからひとつお伺いしたいんです。

柳田　まず、小さい子の身の安全、親方が一のことがあっても遠い親戚が預てられるという可能性も、まず赤子供の生命をということを第一番目になるのは学校の安全性ということ。

子供にはやかましく

それと、彼にいう教育も注意に

【7面につづく】

安心する〝巨木の下〟

りそういった訓練なり、実際にもどのを見て、自分が歩いて経験しなければいけないというとこの程度歩けるのかというんですか、結果的に自分が歩かなければならないということなものですから、明、少しずつマラソンをさせていますから、それで体力づくりをということ。あとは、何かあったらことになるという親子同士の合言葉、うちの方ですと神社があるものですから、一時的にはまずそこへという。その程度しか自分自身の中で防災訓練に参加できないのかなと思っています。

司会　大変ありがとうございます。

北村さん、いかがですか。

駅などに避難所の標示

北村　いまでもそうなんですけれども、寝ちゃうの若者家にいるはずおきについています。それとかの入口にもございます。あるんですけれども、ほんに看板とか何かあるから、皆さん、よく見えないかもしれませんけれども。

北村　想定通の場合は困ってしまうんでしょうから、どういうぐあいになるのか想像もつかないんですけれども、せめて駅とかいったところはそういう標示を出していただいたら少し安全じゃないかなと。

親子がバラバラのとき

うちでは、親子がバラバラになっているときはなるようにしかないというんでして、しょうがないわけですね。学校に行っているときは子供は学校に預けるし、行ければ親が学校まで行くというのしかできないわけですけれども、せめて小さい子供にはなるべく取り囲まれないようにしたいと思う。

祭り気分の防災訓練では…

それとの前、防災訓練に参加したときに、暑いさんかったのですから、ノースリーブかなんかでお祭り気分で出たんですね。そしたら、こういうかっこうが一番危ない、せめて長そでを着せてほしいということを言われたんですが、それからは寝巻きは長袖でして長そでで、なるたけ肌を出さないというようなことをいう。何ができるかといったら、まずはシャツを出さないということ、万が一のときはすぐに水で濡せるようにといったことをいろいろ出ていたのは参加はしていないんです。やはりもわかる掲示があればいいんじゃないかなと思いますね。

司会　東京駅の地下などで、どこへ逃げたらと、ときどき考えたりしていれば、学校に行っているときはとかく学校にシッとシッとしていらっしゃいというふうに言っていますけれども。

あと、私の不安感かもしれないんですけれども、人が集まりますと駅とか、東京駅等で、ああいったところとの避難所はどこですというような標示はしてあるんでしょうか。

司会　あまり見たことないですね。

小川　避難路になっているところはあります。避難路に百五十か所。

北村　壁に伝わっていけばとかに暗闇があるから、その暗闇を伝われば上に上がれるという話を聞いたことがあるんですけれども。

柳田　なるほどね。そしてたに出れば皇居の方に逃げることは可能でしょう。

結局、外が見えない中にいる人たちの心理状態が流れますから、たとえば暗くなったらバッとそこ金光線があって、その矢印のようにおりにさえれば必ず外に出られるとかの掲示がつくんですね。

柳田　そういった対策を何かしていただきたいですね。そういったものはそんなにお金がかからなくてできることじゃないかと思いますので。

それと、いまもお話がありましたけれども、ちょっと空き地ができるとすぐ駐車場ができるわけですね。ちょっと空き地ができたときは駐車場ができないようにはならないものかと、中央区などいなどころに住んでいますとつくづくそう思いますね。使っていない高速道路まで、どこで管理なっているのかしませんけれども駐車場になってしまうわけです。ですから、ああいったものは何か規制ができないものかと思います。

駐車場を木で取り囲むこと

柳田　たとえば木が防災の役目をするならば、駐車場をつくるからにはそのくらいの広さの場合、ぐるっと木を取り囲まなければいけないとか、車のとめる位置を変えて木はなるべく排気ガスがかからないようにして、せめて緑化で、自然のものでカバーできるものがあるんでありまして、そういったものを義務づけるというんですか。間、心理的に緑で両方でとてもたとえば一軒に一本でもいいからイチョウの木を植えてください。

司会　強制でイチョウを植えさせると大分違うかもしれませんね。

小柴　私は何といっても緑化で思い切って子供を助けるべきだと思っています。

火と煙で足がすくんでしまう

司会　パニックをやわらげる〝ミドリ〟

小柴　そういう意味で、避難路などを逃げていくというのは、恐ろしい子供のとこへ行くとなりますと、あれは木がかっこうの場合、ぜひ子供のとこへ行ってあげるようにしていく人の人心を安心ぶんやわらげる思うんです。緑がないと家まで火が届いちゃっていたらしょう。火災というと風が出ちゃうから、どうにもたんないですよ。いまの松原のとこからずっと広い通り、あの向こう側に届いているんですから、私は水槽の中へ飛びゃいまして、全身をぬらし全部ぬらしてこでゆわいたってそれがパリパリに焼いちゃうんですからね。

ぜひ広場に緑を

そういう意味で、ぜひとも広場に緑を植えた遊園地でも結構です。それを先ほど建設省の課長さんがおっしゃいましたけれども、確かにそれの利用法ということになれば簡単はあるかもしれませんが、人心をやわらげるという意味においては、小さい公園と結構でございますからうんとつくっていただいて、一時ぞこへ逃げまずと思案がつくんです。それが次から次へ連並びてきますから、こわいのでお右へ行っていいのか左へ行っていいのか、遠ぐく世田谷の経堂へ逃っちゃった、車に乗ってきまる迷われたんですから、あれが子供の手を引いて、どこへ出ていったらどこへかかれるんだろうというふうにしてくる、焦りて、そして大勢人の行くところへくっついていきますとそこでパニックになっちゃう。そこでまたまで死んじゃうということになるんで、私はむしろ小さな避難広場じゃなくて、避難じゃなくて思案する公園として、それを私はうんとつくっていただきたいと思うんです。そして体験から割り出しをしての勘いでいただきたいと思うんです。

事前に小さなことから…

あとに、議会に十年席を置いておりますので、江東区の中でも五期やっておりますから、防災対策ということだけでも議席を持っていなちゃならぬと、母型として小さな子の生命を守るためには自分の体験を生かしたということがなにっていますが、いま私、戦災の犠牲者でございます。そういうようになってきちゃいますとよけいにお願いしておきたいことは、大きな構想をお立てになっていくのも結構。たが相手も、事前の小さいことでも、れたた金かもしれないけれども、やはりいつ来るかわからない災害でございますので、ぜひそういうことだけはやっておきたいと思います。人災だけでも防ぎたい。

もう二つは、いまお話さん方から出たように、どうしたらいいんだ、ということでいらっしゃいます。でですから、新潟地震、関体験の訓練、道路へ物を置かない。そして面を きれいにする。美化していくことになれば、それが新潟地震のときの災害を救っているとか、そんなデータがありましたね。先生。

小川　そうですね。

路上の自動販売機

小柴　私は、あればそれでもすばらしいことだったなと思うんです。

それと私、心配でならないのは自動販売機の出ていることです。そのくらいでもまだもっと固定させるちゃに上手にするとか、あれが人道へ溢れ出たとしたら、恐らくみんなが道へ出ちゃうと思うんです。そしてそこへ車が来るということになると、恐いなかなる不慮の……。いまの自動販売機の数は大変な数ですから、あんなものは東京の時代にはない。

わりあいに上手に逃げた人限って、みんな自分の家を締めるの前に家内に家を まいて、そしてまず避難をきれいにした者の習慣があったんですね。いまはそれがなくなっておりますから、そのような障害物を取り除いていただきたい。それだけは、お願いしておきます。

司会　ありがとうございました。

小川さん、行政の立場でいろいろむずかしいでしょうけれども、逆に都民の皆さんにお願いしてあっても結構ですし、あるいは個人的にご意見でも結構でございますか……。

あなたの足元に地震の巣

小川　現在、私たちが考えていることを ちょっと紹介させていただきますと、まず東京の地震はどうなのかというようなことでございます。東京では繰り返し地震が起きているんですね。そこで、今度来る地震はどうなるか、あるいは被害はどうであるかというようなことから議論をして、できたけ安全対策にしたいと考えておるわけでございます。

東京の場合、関東地震のような大きな地震が起こる場合と、東京の直下あるいは荒浜、川崎の方で起こる直下型の地震と二つのタイプがあるというふうになりましていろいろ研究しているんです。

【7面につづく】

もう議論の段階でない

燃え広がらない町に

「緑の銀行」運動を

【6面からつづく】

ろ来るんだというような議論になりますと、ある学者の意見などでは、百年くらい先になろうというふうに考えられる方もおられます。それに対して原下地震はいつ来るかもわかるわけというような議論にもなっております。

燃え広がらない町に

そのようなことがございますので、東京を瞬時に崩壊しない、将来に向かって安全にしていくという長期的な見方に立ちまして、何とか広がらないような町にしたいと考えているわけです。

長期的な町づくり

長期的な町づくりということでそういう対策を知事がわろうが、やっていくだけのことを国の方針として出せば立てるべきだと考えます。

ということで、いつ来るかもしれないというのが小さい地震がないじゃないかと自身は思っているんですが、そういう場合については、できるだけ民間の方々の生活の場と申しますか、あるいは個人個人に行き渡るような具体的な対策を緊急にとりたいと思う内でも現在、議論をしておるわけでございまして、先ほどいろいろと注文がございました。たとえば自動販売機の問題とか兵庫県いろいろ、何かのような点は取り組めて具体的にやっていくようにしたいと思うわけです。

都民への注文

都民の方としては、個人個人が自分の身を守る習慣を徹底でやりになる。あるいは職場では必ず防災の身の守りをみんなに分担させて決めておく、そのような心がけをひとりやってもらえたらと思うわけでございます。

そのようなのをもっと輪を広げるという意味で、地域防災組織というのを区役所に頼いしておるわけでございますが、できればそういうところに、集ってもらって、地域ぐるみで防衛しようと都民の皆さん自身がご認いただけたらいいんじゃないかと思いますが。

司会　ありがとうございました。

基本的にはオープンスペースをより多く

上田　いま、いろいろお話を伺っていましたけれども、われわれの都市の防災対策、緊急対策というのは結局、都市の構造自体を防災的にしていくということで、基本的にはいわゆるオープンスペースを少しでもなくさんとる。道路、公園、いろいろなものがありますけれども、それを最初にもたくさんとるということと同時に、そういうものをできるだけ潤沢にすていくということも非常に重要な課題だろうと思います。

不燃化は不十分

さらに住宅いろいろ建設的なものをつくり出していくと同時に個人の宅地についてもできるだけ不燃化していく。この点についてもやはり事前対策を少しでも講じておけば被害が少しでも軽減できるという意味で、予知ができるように研究を進めるということと同時に、予知が可能な状態になったときにどうするかにそれを世の中に知らせ、どういう態勢に持っていくかということがあります。これが非常に大変なことです。アメリカあたりでもすいぶん研究されているようですし、日本でもこれから研究しようという方向にはいっております。

交通規制も

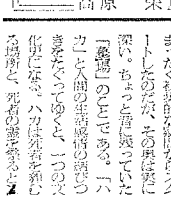
私も、予知がうまくできなければ、十分に被害を減らすことはできないんではないか。たとえば発ほうから出ておりますが、地震時の緊急交通規制をもっと強化するというようなことになっても、予知ができて、車を間に合って余り出さないように交通規制をやるとか、新幹線なんかをもっとうまくとめるという話もあるんでしょう。そういう予知ができるようになれば地震の被害を大きくする原因になるようなものを事前に抑えられる。将来はこういう対策ができないんじゃないかと思っております。

予知技術に期待

われわれの方でも、予知の問題が政府にあり手として、数時間以内に地震がこないのの地震が起るという判定が出た場合政府の閣内、あるいは公共機関を寄めるという体制をとるかいうことは、恐らくとにしゅうぐらいにはかなり、はっきりしてくると思います。そういう時間にだんだん近くおるまのので、予知技術の進歩に期待したいと思っています。

「緑の銀行」運動

小柴　最後に申し上げておきたい点があります。いま緑の銀行とつよく私ども、木を植えたいと思います。小学校もそうですし、方々へ寄付申し上げ、そして近隣の方へお頼いしては中学校も高速道路の下に緑を植えて、それもお母さん方の誕生祝いのお金をいただいたり、冠婚葬祭のお礼のおおぎいただいて、お金を寄ってくださったんだから、東京の緑をもっと言葉を生かしてください。結婚祝いもそうですし、出産祝いもそうです。宗様からお金をもらったらいしそれから一円玉を集め、そしてじみたち通勤でございますけれども、地域通貨としてはその通勤をやってはなって、一つずつでもいいからできるものから実行していくようなお屋じゃないかと思っています。そのうち社員を減り立ちなかから、役所へも直接陳情とか建議書をいろいろ形でぶつけたりしてこれは大ごとだけれども本腰をあてもらわなければ思っております。大変ありがとうございました。



高原　栄重氏

◇公園墓地雑感◇

五本木太郎

流れを教えてくれるわけでもない。

呼び寄せあって教本が連まるなかでも、資料集めとその調査についやされたからである。じっくり腰を据えて、取り組もうとすると、資料はかかるであろう。これでは、友人もシビレを切らして、"やめた"ときては、私もたつまがない。

あやまれや、理屈をつけて厭戦らしいもの、チラチラみせて、なんとか、この仕事をつぶせている。

教本作業の深夜口になった「雑学」の歴史的背景を調べてゆくうちに「墓地」の問題にぶつかった。

「墓地ってなんだろう——」まったく初歩的な疑問からスタートしたのだが、その頃は実に深い。ちょっと言葉にしていた「墓地」のことである。「ハカ」と大間の生活感情の病つきをたどってゆくと、一つの文化史になる。ハカは死者を納める場所と、死者の霊を慰める

流葬儀祭の主助会を経営している友人から、社員用の教本を作って欲しい、とたのまれたが、ことしの二月。かれこれ半年以上たっているんだが、原稿の方は一向に進んでいない。

葬祭社員と接触を密にしようと、こちらから会をもってゆくと、「先生にお話するとまあ」りません。私達は、ただ、個人的に、ホトケ様の祭壇を飾ったり、結婚式や結婚披露宴の看板などを書いているだけです」と逃げてしまう。

この業界を見渡しても、冠婚葬祭に関する基本的な教本があるわけでもない。そこで、友人が、"わが社だけでも、教本を……"と思いついたのである。

葬儀に関する学者の研究論文は、あまりにも専門化、統一化したものがなくて、ばらばらだ。

ただ、冠婚葬祭の歴史的なものは、柳田民俗学とその流れをくむ学者群の民俗研究が役にたつ。というて、歴史的な

"道具は流れ者の吹き溜り"

といわれ、地方出身者が集まって、新しい町を形成した。そこで、海産では、造船を維持するために、漁師を中心にした「漁家制度」を敷いて、このための寺院の経済的背景が確立し、"おぶのかかる仏教雑式"に適応して

これが、明治以降、廃藩置県が都市の近代化にもなって拍車をかけ、公営墓地を求めるようになる。が、仏教派では、墓地をやっかいものとして、あれやこれや手をうってくる。ところが、政府このかた、化けものの出るような墓地は公園風の墓地にかわってきた。

関西では、国有財産をやくめ、百貨店墓園がつくられ、"公園墓地"として、PRされている。これにならって、大阪府池田市も「墓園墓苑」にのり出して「五月墓園」をつくった。

東京では、どうなっていると、「公園墓地」の話は一向に聞きたってこない。どちらかというと、ビジネックをかねた「公園墓地」を郊外にもめている。それも、民間組織のものが多い。

東京都の区部は、防災、緊急に弱いと指摘されているものの土地の有効的利用に役人は頭を痛めているときくが、「公園墓地」を、それもそうなものをつくるとも一つの提案である。

もう墓地から化けものの出ない、タタリもない、寺院の経営を地元とかからうことになるかも知れないが、「ハカ」は、仏教徒だけのものではない。神道もあれば、キリスト教もある。戒名一つとっても、各宗派で、つけ方が違っている。そして戒名に家紋をつける時代はすぎた。

信仰に乗りおされずに、公営墓地の繁栄と拡大を考える時期にきていると思う。【筆者、民俗学研究家】

公園、庭園灯、噴水
水中照明設計施工
株式会社
三成電気商会
新宿区高田馬場２－３－15
電　話（200）1866 7830

マキシーパリケード
東京工事ライト（株）
〒165 中野区松ケ丘二丁目八一一
電　三八九－一一五二一

庭園ビヤホール（ビヤレストラン）
銀座ライオン　渋谷パルコ6F
〒150 渋谷区宇田川町一五一一
電　四六四－五一一九　六六七

擬木 SP木木（SP工法） PC木木 各種
モニュメント造形遊具
設計、施工
建設大臣許可（般－51）第7269号
〔株〕サカエ造形開発
本　社　東京都三鷹市新川4－7－19　TEL 0422－47－5981
支　社　石川県松任市倉光町156　TEL 0762－75－3569
支　店　沖縄県島尻郡豊見城村字我那覇514　TEL 0988－57－6963
代理店　秋田・山形・北海道・大阪

中国旅行見たり聞いたり (上)

勝芳三郎

かねてから一度は中国を旅行したい願っていた所、幸いに日中友好協会本部の厚意をしておられる大田会長から目掛けをお誘いとして今年の春、訪中友好親善者団の一員として名孫のもとに都長各界から選ばれることになり、緑化業界から五名様の枠をとっての指導者は推薦しいたけるということなので、早速希望した所、私の外に加藤、比留間、小坂の各氏と動物園の石内園長も参加されることになり、四月五日総員百三十二名、名誉団長に宇都宮農業代議士、団長に西方国際都市先生始め役員、地方議員団、婦人団体等各界から選ばれた人々と共に旗揚中国旅行機で先づ最初の訪問地北京をめざして飛び立ったのは午後、それも夕暮れ近くであった。

今回の訪中団は総勢百三十余名という大部隊であり、第一班から第四班に所属したのです。四班総員十九名その内には我々の中金さん、その外、部落解放同盟委員長大田区助役、調布市議員委員長、小林寺嘉法の指導員等多七名の人々が我々のグループであり、出発時から祖国の日本で活動を共にした仲間でした。

始めて来る中国機、そして今回の訪中で中国人として最初に会った人がスチワーデスのイメージは遠慮大概おしゃれで、はなやかな感じのするものと相場がきまっている。所が中国機の彼女たちの服装といえば、いわゆる襟の形は一様におさげで工人服というもの藍色一色の上衣とスボンのいでたちである。よく言えば、質実剛健、悪いいえば、やはったい感じであった。

今はて言毛沢東主席が言った有名な言葉に『女性は天の半分を支えている』――女性解放の言葉だ。中国では中年以上の女性は断髪、若い人たちはおさげ、おしろい気もなく勿論、口紅、香水などつけず誠に素朴なもの。かつては世界でも有名な生人を驚出した中国は文化革命とやらでチーパオやスカートなどはなくなり、女性特有のおしゃれを禁じる気持をなくしてしまったかも知れない。という様な一人かりの考えをしている内に我々の乗ってる中国機はすでに大陸の上空、一路北京目指して快適に飛んでいる。

現地時間で午後八時四〇分、北京空港に無事着陸、所要時間約四時間。羽田空港の様子消滅さ、はなやかさは全くなく灯火管制下にもとに様な暗い空港であった。タラップを降りて最初に眼についたのは『毛主席万才、中華人民和国万才、世界人民大団結万才』という字をかい示されパネルであった。

スローガンにもいろいろあるが中華人民共和国万才、毛主席万才という様に自分の国、またその指導者をあから様にお祭りにほめて立着感じている中国は自信たつぷり活潑的であり、昔から自らを中華と称し誇り高き民族を自負しているのかも知れない。

空港には北京革命委員会、旅行社等の人々のさかん歓迎ぶりをうけ通関手続きも、先方の好意でフリーパス、先者先行きさき歓迎ぶりであった。

すでに外にはバスが待っている。班ごとに乗車し、最初の宿泊地、北京飯店へ向った。

北京市街に入る途中、市路の照明は暗い。道路幅の広いと信用くらいに勝る広さであり、暗くてよくはわからないが、街路樹が両側に三列ずつ植えられている。奇妙に感じられたのは歩道の中に疑々たる人々の群れ、夜の涼を自然の中に求めて、ゆったりと寝ている。

程なく豪街に面した北京飯店に到着、明日からはハードな日程が待っているので北京第一夜は早く寝についた。同宿の人は加藤氏（株式会社社長）であった。（筆者・東京蕨市　主婦）

ゴルフ　アラカルト　オン・ザ・グリーン

小生の知人が某ゴルフボールメーカーの販売課長をしている。その彼とある夜一杯やる機会があった。彼にいわせると、ブラックシャフトも飛距離にはすごく貢献しているが、ボールの飛距離はそれ以上で、十年前にはくらべものにならないようである。その彼のオンチとしては、飛ぶ球ありかたいが、ワンパットで六メートルを作れということになった。これさえあれば小生税の腕では自信オーブンに出場出来るはずである。

昔から、ドライバーがジョー、パットはマネーというが、プロの優勝者のことは「パットがよく決まり……」というのがいうるように、スコアのよしあしの大半はグリーンで決まる。ゴルフ雑誌のグラビアに、尾崎プロのクラシック選手権大会が掲載されていたが、整理整頓の問題もそうなるのだそうだ。

プロ野球ニュースでおなじみの佐々木信也氏は、かくれたパターの名手で、彼にいわせると、スワリのよいパターがいいという。パッティングの極意はその瞬間リラックスできるかどうかにかかっているそうだ。二、三度くらいのやつを一発でものにするには、大切なのは、そのためには、全ての動作が終ったところで、一度パターをおくのだそうだ。それから、さっとゆっくり（ヤ）にぎって、すーと打つというと、スワリが悪いと、また同じ動作をくりかえさなければならず、その間にまた同じ緊張感がおそってくると、ふるえ出される。ちはいずれ消える方は参考にしていただきたい。

ゴルフとは、クラブを振りぬくことである。パットにおいても同様で、どんな短いパットでも、インパクトの瞬間に又スピードを調整するようなことに、理論の法則からいっても、ぶれのもとになるのである。金言的に簡単外のもとのもとでもない。よいスイングを打つことが、ゴルフのもとであるようだ。（J）

庭作りの心 ①

蛭田貫二

若から名入とか、名士とかいわれる人は、数多いるが、いずれも其の伝記等を読むと、一人の精進に外ならないと思う。であるからその作品を見ると、人々に感銘を与え感動肌に感ずる嬉しい味がある。作者の真心の現われであろう。

数々の名園を見ると、春の大海を思わせたり、深山に秋の紅葉を焼く感を、抱かせるのは何故だろうか。勿論その作品が良い事は解るが、使用する材料の集積にも、並々ならぬ努力が払われた事は言めない。熱意と愛情のほとばしるままに、全精力を傾注して努力しなければならない。

生涯の道、到に生き抜いた人が多い。勿論その人の天分もあるのだろうが、生まれながらの名人名士ではない。必ず一つの信念を持って、血の出る様な努力をしなければならないと思う。

花のおもてなし　マーガレット

南沙織

毎日、マイニチいそがしい世界に住んでいる私にとっては、華やか花よりも、さわやかなマーガレットのような花が好きです。

石組について

現代の様な機械力の発達していない時代は、一つの石を探す事すら、重要な作業であって、掘り出し、運搬待ちまでの構想がその時点で頭の中に出来ないと、決して出来るものではない。そこで作品の構図が出来ているから、物を探すのに憂慮が一要すると同時に、その石も大部居心地が良い様に感然と見えてくる。私石（ゆせき）あるのは通りで、一つの景観が良く出来つつ事を忘れてはならないと思った時、お前の足りない所はいるから、物を探すのに憂慮が一要すると同時に、その石も大部居心地が良い様に感然と見えてくる。私石（ゆせき）あるのは通りで、一つの景観が良く出来つつ事を忘れてはならないと思った時、お前の足りない所は石にあり舞う」と感謝の気持ちが湧いてくる。そこに心がある。

石の心を汲み事が出来ると、ある石は石の方に振えて下さいと、又ある石は左の方が良いと言っている様に思われてくる。

流れる岸辺特殊な場所に、上手に石を据えると、流れのムードが生まれてくるのである。自分の作品が良い事は言めないが、何年経ても風雪にさらされ耐えた様な様な石を奥山で見つけた時、何年経ても風雪にさらされ耐えに耐えて、一言の言葉も言わずに過ぎた自然の姿に、「その石にあり舞う」と感謝の気持ちが湧いてくる。そこに心がある。

石の心を汲み事が出来ると、ある石は石の方に振えて下さいと、又ある石は左の方が良いと言っている様に思われてくる。

流れる岸辺特殊な場所に、上手に石を据えると、流れのムードが生まれてくるのである。自分の作品が良い事は言めないが、何年経ても風雪にさらされ耐えに耐えて、一言の言葉も言わずに過ぎた自然の姿に、「その石にあり舞う」と感謝の気持ちが湧いてくる。そこに心がある。

私が作った石組において基本的な考え方は、地下で関連しているが様に組むべきであると、力説している様に思われる。

早速たっぷり水をかけると、木の葉の色が急に生き生きとして元気を取り戻す。樹木を労る気持ちを常に持っていると、植物から手入れまで自ずから違ってくるものである。樹とその気持ちが原作りとしての、心構えではないだろうか。

（筆者・蛭田植物園社長）

× × ×

論文、随想、評論などの投稿を

本紙は、会員の皆さまのほか、従業員、その家族、造園緑化専門家、緑化事業に関心のある都民一般からの投稿をおまちしています。

論文、随想、評論から詩歌にいたるまで、紙面を開放し、とくに人物本来に関するものを歓迎。原稿掲載は編集委員会におまかせください。

なお、原稿は、生涯を入れたり、添削する場合もありますので、ご了承下さい。

随想　緑の灯

北見功

現代は、男女同権になりましたが、それは、人間として平等に、取扱われるということであると考えています。同権と同職とを、混同して、男もなもみんな同じ事をするという意味とは、違うのであります。

何故かと申しますと男と女は、その生理機関の構造が違っておりますし、知能や感情の動き方にも変った点が、多々ありますから、当然ながら違ってくるとなくてはなりません。

同権とは、男は男の天分を、十二分にのばし、女は女の天分を、これまで、十二分に生かすことであると信じて疑いません。男女は、共々違った天分を持っているのですから、男だけでも不完全でありますし、女だけでも、勿論、不完全で、ある訳です。

即ち、男と女の両性が、あいまって、完全人間ができるのです。

論文、随想、評論から詩歌にいたるまで、紙面を開放し、とくに人物本来に関するものを歓迎。原稿掲載は編集委員会におまかせください。

なお、原稿は、生涯を入れたり、添削する場合もありますので、ご了承下さい。

"礼節を振り　かえろう"

婚礼あるいは冠婚葬祭の礼について一言申上げたい。

肉親同士とか特に親友の間柄であれば、礼節がかなりの無礼あるいは無作法であっても、ご了承されましょうが、ところが中々とこの礼が行なわれていないことが余りにも多い現世ではあります。

これは社会人としてのみにも無智に等しく甚だ恥ずかしくもあります。

例を挙げ婚の慶祝あるいは冠葬等の返礼について申し申げるならば、本人からお礼状の二つも出すことなく、すっぽかしてしまうようなことは社会生活の中ではそうはいかない場合が非常に多いのであります。

無精だけではすまされません。

礼状がわりに「デパート」等から返しの品でけがくれぬまで事足れりとは余りにも礼が低いと考えられませんか。

たとえば字が文章が下手でもいいから、ご一言、葉書の一枚に出した方が対手方は余程うれしく思うことうたがいないと思われます。即ち、物的にするやり方は大いに自己批判すべき考えられます。若い人なら社会活動もかいのであるからもうてでしょうが、立派な大人達もう少し社会活動者の一員としてのプライドをきづつけない為に礼節を振りかえって見ようではありませんか。

新春と共に実礼しました。

× × ×

昔は木偶坊になれば活物価が下ったものだが……。

現世はどうだろう、活物価はウナギ昇り。昨年の東京都賃貸きたら一度になんと五〇・四%増賃貸上げ。

園長は一体いつになったら楽になることやら、世情はますますきびしいものとなっている。

ところで造園界はどうだろう。

緑の自然保護から優良樹場を豊かにするための国の予算が大幅にアップする朗報が巷と共に伝えられております。

誠にもって造園界としては力強いことでございます。

而し過ぎを振りかえる年暮に良いニュースが沢山あったのであります。さてその時期になると国の様々の事情から緑は削減されて折角のニュース等々でいたものが絵に画いたモチで終ることが余りにもあったのである。

造園界としては、非常に悲しい思いをつづけてきのである。

幸いにしてわれわれの日本を代表する岡目日本造園業協会二瀬常名誉会長は政界内でも活発に活躍し力強き存在の方で

もあり、又、我々造園界の常要をよく識もし感動なさっておられることで本年こそ大きな期待が出来る気持がするのは決して私一人ではないことでありましょう。昭和50年こそは、我々造園界もなんとか不況より脱出したいものであります。そして絶国いたモチではない、ほんもののモチにありつきたいと、春と共に念願して止まないのである。

中国人の恋文

東北山

（とうほくやまと）

北時遠路遥々
（わがしんぬいなる恋にいさま）
茎茎計十六樣様
（おりかみ　じゅうろくにちつきました）
心遠遥遥千里
（こころは　うれしさで　いっぱいです）
我心關關雎鳩
（わたしは　あなたを　しんからあいします。そしてあなたと　ふうふになりたい）
我心關關雎鳩
（わたしは　どうしても　ひゃくねんのちぎりをしたい）
情長紙短　千折千折回言
（じょうは　ながく　かみは　みじかし、きっときっと　へんじください）

言幽　上言
（ゆきまくらのもと）

○…この夏は雨で終った。二十二日連続だというのは新記録だという。実い日本で東京は雨、大阪では晴天続きという不思議な現象である。

○…東京の市路樹の散水は必要なく、逆に大気では散水するが溜木、茎生に半分枯れ状況である。自然の姿をあるべきなのか、科学が発達し人為コントロールが自由にできるようになってはしいものだ。

○…都心を離れて雄大な自然の中に入ると長敬の念をいだき、人間なんてちっぽけなものと感じる。自然が育てる自然を大切にしなければいけないと思う。人間の技術でそれを手伝うのが我々の使命だと考える。（V）